

選択と集中 改革を加速

若者が憧れる職場を創出

以上のような方針で県政を運営しています。スビード感を重視したおかげで、知事就任から約2年間で、多くのことに取り組みたと自負しています。これまでの取り組みのトピックスを紹介していきます。

試験研究機関である茨城工業技術センターは、宇宙関連産業への参入を目指す企業へのための実験装置を整備するなど、県内の宇宙ビジネスの拡大を後押ししています。

それから、20万回、地域（G20）首脳会議場、デジタル経済大臣会合のつくば開催を誘致しました。この意義は、茨城にはこれだけ大きな国際会議を開くポテンシャルがあるということを示したことにあつたと思えます。誘致が決まりました。当初は、「ホテルは大丈夫か」と外部から心配されましたが、実際には何の問題もありませんでした。

最大50億円

企業誘致では、工業団地の分譲価格の大幅な見直しを行うとともに、最大50億円という全国トップレベルの補助制度を創設し、本社機能や研究開発機能の誘致に力を入れました。これまでに約10社の誘致に成功しています。従来の工場（生産拠点）の誘致も重要ですが、東京の大学を卒業した人が茨城で仕事をしたいと思えるような、最先端研究を行う研究所や本社機能を誘致し、優秀な人材を引きつける職場をつくりたいと考えています。

流通多様化

農業については、メガファームの育成に取り組みんでいます。農業では、利益にとにかくこだわってほしいと考えます。利幅を増やすには、販売単価を上げる、コストを削減する、販売数量を増やす、という三つの方法があります。これらの視点から行政での支援を行っています。例えばコスト削減については、今まで行政ではあまり関与せず、バラバラの農地を放つておいたわけですが、今は行政が不動産やベロツパーのように自ら動くように集約化に向けた営業を

農産物の流通の多様化にも取り組んでいます。価格決定権が全部市場に任せられていると、どうしても安く設定されてしまつてお困りがあります。そこで、農産物の新しいサービスを手がける事業者などと組むことで、流通経路を多様化していきま

また教育分野では、中高生を対象に英語力とプログラミング能力を磨いてもらおうと、英語はグローバル化するこれからの時代の標準語です。海外でビジネスをする人だけに必要なのは英語ではありません。日本に外国人が増えた時、英語が使えるか使えないかで大きな差がつくはずで

ITが急速に広がる中、プログラミングも重要で、教育や医療の分野を含め、あらゆるビジネスではITをいかに活用して差別化するかが問われる時代になります。プログラミングに素養のある人材が地域にどれだけ存在するかは、茨城県にとつて将来の企業誘致を大きく左右するポイントになるのではないで



「失敗を恐れず挑戦する姿勢が何より大事だ」と強調する大井川知事



知事の講演に真剣に耳を傾ける茨城産業人クラブ会員ら

突き抜けた才能、社会を変革



講演会後に県内企業幹部らと意見交換する大井川知事（左）

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げさせていただきます。今、日本は産業的に非常に危うい状態になっています。私は危ういと思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などが成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力がなくなっています。日本全体で見ると、「自動車産業の一本足打法でなんとかしている」という状況ではないか、というように感じています。非常に危機感を持っています。

今、我々に求められているのは、コスト競争から抜けていくことです。私には先目、フランスに出張して見ました。金銀製品を3Dプリンターでつくることができるようになりました。これは、従来の技術では不可能なことが必要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいくと思います。我々に今必要なことは、コスト競争から抜けていくことです。

技術革新でコスト競争脱却

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げさせていただきます。今、日本は産業的に非常に危うい状態になっています。私は危ういと思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などが成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力がなくなっています。日本全体で見ると、「自動車産業の一本足打法でなんとかしている」という状況ではないか、というように感じています。非常に危機感を持っています。

今、我々に求められているのは、コスト競争から抜けていくことです。私には先目、フランスに出張して見ました。金銀製品を3Dプリンターでつくることができるようになりました。これは、従来の技術では不可能なことが必要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいくと思います。我々に今必要なことは、コスト競争から抜けていくことです。

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げさせていただきます。今、日本は産業的に非常に危うい状態になっています。私は危ういと思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などが成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力がなくなっています。日本全体で見ると、「自動車産業の一本足打法でなんとかしている」という状況ではないか、というように感じています。非常に危機感を持っています。

今、我々に求められているのは、コスト競争から抜けていくことです。私には先目、フランスに出張して見ました。金銀製品を3Dプリンターでつくることができるようになりました。これは、従来の技術では不可能なことが必要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいくと思います。我々に今必要なことは、コスト競争から抜けていくことです。

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げさせていただきます。今、日本は産業的に非常に危うい状態になっています。私は危ういと思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などが成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力がなくなっています。日本全体で見ると、「自動車産業の一本足打法でなんとかしている」という状況ではないか、というように感じています。非常に危機感を持っています。

今、我々に求められているのは、コスト競争から抜けていくことです。私には先目、フランスに出張して見ました。金銀製品を3Dプリンターでつくることができるようになりました。これは、従来の技術では不可能なことが必要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいくと思います。我々に今必要なことは、コスト競争から抜けていくことです。

最後に、経営者の皆さんに「コメントを申し上げさせていただきます。今、日本は産業的に非常に危うい状態になっています。私は危ういと思っています。例えば、高度成長期からバブルの時期までは、日本は非常に強い産業がありました。電機、電子、自動車などが成長してきました。しかし、現在は多くの業種で競争力がなくなっています。日本全体で見ると、「自動車産業の一本足打法でなんとかしている」という状況ではないか、というように感じています。非常に危機感を持っています。

今、我々に求められているのは、コスト競争から抜けていくことです。私には先目、フランスに出張して見ました。金銀製品を3Dプリンターでつくることができるようになりました。これは、従来の技術では不可能なことが必要になります。そういった新しい技術がどんどん進んでいくと思います。我々に今必要なことは、コスト競争から抜けていくことです。

時代を生き抜く確かなビジネスパートナー
異業種交流会でつかむビジネスチャンス！！

I.M.C 茨城産業人クラブ

会長 高橋 日出男（協立製作所 社長）

入会のご案内

茨城産業人クラブは、茨城県下の企業経営者、産業人が集う異業種交流組織です。講演会や意見交換会、工場見学などの活動を通し会員相互の交流、経営者の資質向上、事業の拡充を図り、地域産業の振興に寄与することを目的に設立されました。さらに会員の輪を広げ、事業活動の活性化を図るため、明日の経営に挑戦する、清心な会員を広く募集しています。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

お問合せ先 **茨城産業人クラブ 事務局**
〒310-0015 茨城県水戸市宮町2-3-2 富士ビル8階 日刊工業新聞社 茨城支局内
TEL.029-221-6400 FAX.029-221-6416

ONO

新規設備のご相談、
既存設備の改造、修理、
メンテナンス等
圧延機の事なら
弊社にお任せ下さい！

大野ロール株式会社 〒319-2134 茨城県常陸大宮市工業団地5-9
TEL 0295-53-5141 (代) FAX 0295-53-5050

まったく新しい自動化テクノロジーの
概念を創造する。

今までの不可能を、「可能」へ。困難な手作業を、「自動化」へ。
〈グリス付Oリング用パーツフィーダー〉

- グリス、シリコンオイル等を塗布した状態での1個出しが可能。
- ホッパーには、大量投入(1,000~2,000個以上)が可能で、長時間の安定供給が可能。
- ホッパーは、残量が目視出来る透明ケースとなっている。
- 部品供給スピードは、60~100個/分と、高速使用も可能。
- ホッパー、1個分離部、直進フィーダーが一体化され非常にコンパクト。
- 対象のOリングは、φ3~30まで、3機種により様々なニーズに対応。
- 特許出願中。

独自の技術で未来を拓く ティー・エム・ピー 株式会社 T.M.P. 〒319-1234 茨城県日立市大和田町645番地
お問い合わせ TEL.0294-52-6981 (代) FAX.0294-52-3640 E-mail: info@tmp-jp.com 詳しくは http://www.tmp-jp.com/